



# さがえ区社協だより

## No.56

発行：社会福祉法人 横浜市栄区社会福祉協議会

〒247-0005 横浜市栄区桂町 279 - 29 ピアハッピー栄(栄区福祉保健活動拠点)内

電話 045 (894) 8521

Fax 045 (892) 8974

E-MAIL : office@sakaeku-shakyo.jp URL : http://www.sakaeku-shakyo.jp

令和4年8月1日発行

承認：栄区連第41号

## 栄区災害ボランティアセンターとは？

### ～大災害が起きたら、栄区社協は何をする？～

災害ボランティアセンターとは、災害ボランティアの活動を円滑に進めるために被災地に設置される拠点のことです。1995年の阪神・淡路大震災の際に全国から集まったボランティアや業務の振り分けがうまくできず、せっかくの思いが十分な活動に結びつかなかったケースも多く、課題が残りました。

そこで災害ボランティアの人たちが効率的かつ円滑に活動できるように、コーディネートする機関として災害ボランティアセンターが誕生するに至りました。

栄区では栄区災害対策本部の要請を受け、栄区社会福祉協議会が栄図書館に立ち上げます。

### 栄区で今、大災害が起きたら…

#### ① 「栄区災害ボランティアセンター」を立ち上げます。



栄区災害対策本部(栄区役所内に設置)

栄区災害ボランティアセンター  
設置要請

栄区災害ボランティアセンター  
(栄図書館内に設置予定)

設置・運営主体は、栄区社会福祉協議会  
運営協力は、横浜栄・防災ボランティアネットワークほか

#### ② 栄区災害ボランティアセンターは何をするの？

栄区民、栄区内地域防災拠点

ボランティア  
依頼

災害ボランティアの  
派遣

栄区災害対策本部

ボランティア  
依頼

栄区災害ボランティアセンター

主な業務

- ・被災地のニーズ把握
- ・災害ボランティアの受け入れ
- ・災害ボランティア活動の取りまとめ など

全国から  
災害ボランティアが  
集まる



ボランティア登録

### 災害ボランティアセンターのQ&A

Q1 災害ボランティアセンターはいつ立ち上がるのですか。

A1 発災後3日以内を目途に立ち上がります。

Q2 ボランティア依頼をする際、なぜ栄区災害対策本部を  
通すのですか。



A2 依頼の中には専門ボランティアでなければならないものと一般ボランティアで対応できるものがあります。災害ボランティアセンターは一般ボランティアの調整を担っております。専門ボランティアと一般ボランティアのすみわけのために区の災害対策本部は、ボランティア依頼を受け付けます。



区社協ホームページでも  
事業紹介をしています。

詳しくはコチラ

栄区社協

検索

視覚障害のある方にも広報紙の情報を提供できるように音声訳版をご用意しておりますので、ご希望の方は栄区社会福祉協議会までお問い合わせください。

### 送迎サービス事業

- ・利用登録者 86名
- ・送迎ボランティア登録数 3名
- ・送迎回数 延べ152回
- ・送迎ボランティア研修会 3回

### 法人運営

- ・各種会員部会・分科会開催
- ・理事会・評議員会等開催

### 福祉保健活動拠点運営

- ・利用団体 79団体登録
- ・利用回数 延べ1,401回

### 地域福祉推進事業

- ・地域ケアプラザ支援
- ・地域支えあいネットワーク参加
- ・生活支援体制整備事業
- ・移動販売 19カ所
- ・タクシー会社との連携

### 障害児・者支援事業

- ・障害者等当事者団体支援

### 地区社協支援事業

- ・地区社協福祉推進事業助成金

### 共同募金・年末たすけあい配分事業

- ・地区社協への助成
- ・社会を明るくする運動への助成
- ・小災害見舞・旅行病人法外援護等
- ・年末たすけあい助成金 5件

### 令和3年度

## 栄区社会福祉協議会は



栄区福祉保健活動拠点  
マスコットキャラクター  
そらちゃん

## こんな事業を行いました

### 権利擁護事業

- ・栄区社協あんしんセンター  
契約件数 47件  
相談・訪問等支援回数 2,371回

### 移動情報センター事業

- ・相談受付数 90件
- ・ガイドボランティア登録数 56名
- ・ガイドボランティア交流会 } 計2回
- ・ガイドボランティア情報交換会 }

### 善意銀行運営事業

- ・寄託金品・物品受付 30件のご寄付
- ・会員等への配分

### 福祉教育

- ・福祉教育出張講座 延べ8カ所を実施

### ボランティアセンター運営事業

- ・ボランティア情報紙「そら」発行 3回
- ・各種連絡会（傾聴） 1回
- ・講座（傾聴） 1回 延べ23名参加
- ・ボランティア 依頼件数 115件 調整件数 698件  
紹介件数 81件 紹介人数 1,760名

### フードバンク等に寄贈された食品の支援

- ・世帯数 76世帯
- ・配分回数 104回

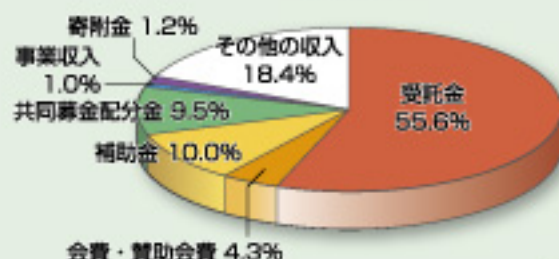
### さかえふれあい助成金

- ・総額 5,580,000円 件数 70件  
ボランティア団体・障害当事者団体・施設等へ配分

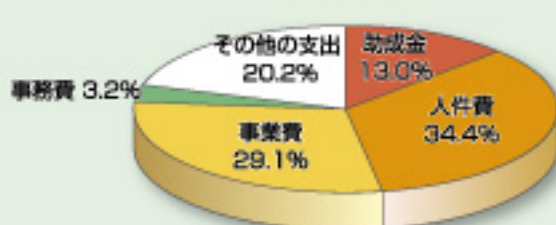
### 令和3年度決算

収 入	84,338,396円（前年度繰越金22,166,871円含む）
支 出	59,824,635円
次年度繰越金	24,513,761円

### 収入



### 支出



（前年度繰越金、繰入金収支を除く）

### 令和3年度善意銀行預託者（順不同・敬称略）

善意銀行にご寄付をいただきありがとうございました。  
栄区内のさまざまな地域活動団体への助成財源として、活用させていただきます。

パソボラ横浜  
手工芸・SAKAE

大船ルーテル教会 教会学校

望月 恵智子 本田 桂子 上山 由美子  
石橋 喜代子 山本 三樹

※他、匿名20名の方と募金箱にご寄付いただいております。



# 賛助会員のご紹介

令和3年4月1日～令和4年3月31日

栄区社会福祉協議会へのご支援ご協力ありがとうございました

## 法人賛助会員(順不同・敬称略)

株式会社 グランコート	株式会社 シーケン	株式会社 さくら住宅
株式会社 装美	株式会社 肥後石材	有限会社 泉製作所
株式会社 機設エンジニアリング工業	二和印刷 株式会社	有限会社 天正商事
有限会社 垣内動物病院	有限会社 木村義肢工作研究所	有限会社 山下工務店
有限会社 ナカムラ生花 笠間店	有限会社 みのくち	NPO法人 さかえ区民活動支援協会
有限会社 山食	有限会社 よろい	宗教法人 正安寺
税理士法人 横浜税務会計	シン サポート サービス	医療法人桑樹会 木村内科・胃腸内科
正翁寺	本郷台キリスト教会	永井眼科医院
医療法人慶寿会 小笹医院	医療法人 若竹クリニック	ミスギ薬局
みながわ内科クリニック	鎌倉ファーマシー大船薬局	小規模多機能事業所「晴」
有限会社 すずらん薬局 若竹店	有限会社 天神薬局	鍛冶ヶ谷カトリック幼稚園
ライフコミュニケーション本郷台	ネクサスコート本郷台	飯島東幼稚園
つくし共同保育所	飯島幼稚園	
NPO 法人 おもしろ科学探検工房栄支部	株式会社 田中造園	

## 個人賛助会員(順不同・敬称略)

朝比奈和子	櫻田 光生	坂 康郎	望月恵智子	佐藤 善作	森 健二郎	内村 侃	匿名希望の 皆様
稲垣 典枝	白川 正徳	福寿 則子	吉井 信幸	三井 良子	西川 隆男	橋 邦子	
上山由美子	多田 裕子	本田 桂子	岩田由利子	山口 治彦	石澤 洋一	米長 保	
梅原 恵子	田中 初芽	丸山 弘人	熊谷 礼子	山本 三樹	相川 定夫	矢島 國紀	
濠原 武	原田 孝之	富内 雅彦	桑原 伸司	上村 公子	渡辺 友子	國分 一也	
折田 藍子	原田 玲子	村岡てる子	古畑 幸一	上野 雅夫	藤田みちる	眞矢 正弘	

B.B.BOX	こども広場 モーリーズ	庄戸の元気づくり	ミニボラ舞台
あおば	こども広場「さくらんぼ」	書道サークル きらら	みんなの広場 たけのこ
飯島お手伝い隊	栄区スポーツ協会	長沼ことぶきサロン	横浜さかえ男声合唱団
いたちカフェ	栄シニアパソコンクラブ	中野・富士見ふれあいサロン	飲食店 浜船
豊田男塾	栄マジッククラブ	なごみ会	おもしろ科学たんけん工房栄支部
親子カフェ にじいろ	栄ソリスティ	ぬくもり こすがや	鍛冶ヶ谷・ローレル地区ふれあいサロン
学習を支援する会	五月会	配食サービス グループ「ゆう」	桂公田町会おしゃべりサロン
紙芝居一座さかえ	サロン「ぶらっとオアシス」	ひまわりカフェ	子育てサロン の〜びのび 運営委員会
希望の会	サロン・かみの	富士見台気楽なサロン	世代交流サロン ひだまり実行委員会
傾聴の会 栄そよかぜ	サロン・ド・アイ	ふれあい昼食会	みんなの居場所「カフェ・かみの」
劇団ぼかぼか	サロンふれあい	本郷台自治会ふれあいサロン	有限会社 越前産業
コスモス会	三水会	みどり会	

賛助会員を募集しています 納入方法：栄区社協窓口または、地区社協を通じての納入をお願いいたします。

- 法人賛助会費 一口(5,000円)より
- 個人賛助会費 一口(1,000円)より

皆様からいただいた賛助会費は、区社会福祉協議会等が行う各種福祉保健活動に有効に活用されています。

## 豊田地区

【たまり場とよだ】

毎月第2木曜日 16:30~18:30  
豊田地区センター2階

4年前子ども食堂としてスタートした「たまり場とよだ」、その名前の通りカレーを食べながらの世代間交流、おしゃべりの場として開催されています。



コロナ禍による活動制限を受けましたが、このような時こそ、とテイクアウトの形を取り開催、幼児からお年寄りまで100人程度の方が来て下さっています。

認知症カフェ、始めました(^^)/

【ひまわりカフェ】

毎月第3木曜日  
13:00~16:00  
長沼コミュニティ館

【オレンジカフェ ここね】

毎月第1月曜日  
13:30~15:30  
NPO法人積み木

認知症の方、ご家族の方が気軽に、ゆったりとおしゃべりできるカフェスタイルの交流の場所です。

会長 山上 東平

## 小菅ヶ谷地区

【いちご会】

お休みにしていました「いちご会」の配食サービスが1年半ぶりに、12月から再開しボランティアさんが心を込めて作ったお弁当を、民生委員さんのご協力で利用者の皆様にお届けすることが出来ました。まん延防止等重点措置が解除になりましたので、4月より再開しています。



【実習会(みすげかい)】

「実習会」は、昨年10月はフラワーアレンジメント、11月は「ポッチャ」体験、12月はクリスマス会を開催し、毎回お仲間と楽しい一日を過ごしました。1月はコロナ感染症の拡大で残念ながら中止となりました。



会長 田中 伸一

## 本郷第三地区

【支えあいネットワーク：高齢者等関連分科会】

コロナ禍で、高齢者の外出が制限され、心の繋がりを維持するために「よりそい通信」を発行しました。B5版の原則隔月発行で一人暮らし高齢者に、担当民生・児童委員が配布しています。読者からは好評です。

【よりそい通信第9号】



表紙



裏面

【サロン活動：俺のカフェ】

介護等に携わる高齢者を癒す居場所として、男性陣がもてなしを行い、美味しい珈琲と自前のCDを持ち込んで、懐かしい青春時代の音楽を聴いて、至福の時間を過ごします。

今回は、真空管アンプ同好会半崎さんをお迎えしての開催風景です。原則隔月第2日曜日午後開催  
中野地域ケアプラザ



会長 渡邊 すみ江

## 上郷東地区

【ニコニコ筋トレ・みんなで楽しく筋トレ】

栄区主催の筋トレ指導者講習会に参加した有志により2団体が活動している。自分の筋肉を使い脳に刺激を与え、認知症予防・免疫力アップを図っている。時間差開催や屋外開催などの工夫をしている。



【サロン見守り交流会・・・令和3年11月】

コロナ禍においてサロン活動の休止が長期になる団体も見られ、情報交換の場として設定した。16の活動団体にアンケート調査を行い、その結果をもとに「自分たちの活動に取り入れたい事・活動再開に向けての悩みを共有し再開に向けての準備や工夫」について話し合った。



【親子で学ぶ性教育講座】  
小学校高学年と保護者・地域の大人を対象とした講座を令和4年3月に開催した。

会長 吉田 正臣

# 地区社会福祉協議会の活動内容

## 笠間地区

【初めてのリモートで研修会「高齢者のゆるやかな見守り」】

コロナ禍での研修会であり、分散開催と1時間の短時間開催と決め、予め、会場での直接受講者とリモート受講者との分け密を避け実施しました。各担当者15分の持ち時間を決め、地域福祉保健計画、笠間版見守りチェックリスト、サロンでの見守り活動、移動販売での見守り活動等について簡潔に説明し短時間ながら内容の濃い研修会となりました。初めてのリモート受講者は15名でした。



【初めてのキャンドルナイト】  
コロナ禍の閉塞感のあるなか、子ども会を中心に、約3カ月前から子ども会を分散して空き瓶や牛乳パックを工夫してキャンドルを作成。夕刻キャンドルを公園に並べて点灯すると、美しさに驚嘆の声が上がり、近隣の子どもや多くの人たちが幻想的なキャンドルナイトの灯りに癒されたひと時を過ごしました。

【初めてのキャンドルナイト】

コロナ禍の閉塞感のあるなか、子ども会を中心に、約3カ月前から子ども会を分散して空き瓶や牛乳パックを工夫してキャンドルを作成。夕刻キャンドルを公園に並べて点灯すると、美しさに驚嘆の声が上がり、近隣の子どもや多くの人たちが幻想的なキャンドルナイトの灯りに癒されたひと時を過ごしました。



会長 千葉 栄子

## 本郷中央地区

【コロナ禍だから出来ることを！】

新型コロナウイルス感染症の拡大により活動が制限されている今だからこそ、何かできる事があるのではないかと、助成対象活動団体交流会を開催しました。コロナ対策の基本を遵守しながらサロンを開催「参加された方の嬉しそうな笑顔がスタッフの元気の源になります」と話される団体の方々も、充実した笑顔でした。

地域の皆さまからお預かりした賛助金は、こうした居場所づくりなどに有効に使わせていただいております。これからもご協力よろしくお願いいたします。

子ども喫茶「げんき」



【三水会】



会長 竹谷 康生

## 上郷西地区

＜コロナ禍で感染対策をして取り組んだ活動を紹介します＞

【祝敬老…新春の集い】

敬老の集いが「コロナ禍」で2年続けて開催できず地域の高齢者の皆さんから、工夫して開催できないかと声をかけて、社協役員会でアイデアを出し検討した結果「映像」を活用して、上郷西地区7自治会・町内会の高齢者が密にならないよう、3地域ケアプラザに協力頂き自治会・町内会単位の分級により、2022年1月に「新春の集い」として開催した。

富士田区長や田中区社協会長からもお祝いメッセージを頂き、高齢者から要望が強かった、小・中学校の出演も学校の協力で、小学校児童の「合唱」や中学校生徒の「吹奏楽演奏」と地域で活躍している幼児から小学生の「和太鼓…びーひゃらどん」等映像による出演に参加した地域の皆さん、コロナ禍のため声を出さず拍手や中には感動して涙している参加者も見かけ、好評だった。

また、各地域ケアプラザからも「健康設備」を映像で実施して頂き、好評を得た。1回目は桂台地域ケアプラザで2回目は野七里地域ケアプラザで開催し3回目は中野地域ケアプラザで開催予定だったが、「コロナ感染拡大」のため中止となったが、延べ180名の参加を得た。



ケアプラザスタッフの健康設備



中学校の吹奏楽の映像



サロン連絡会のグループワーク

【サロン連絡会】

地区社協で支援している、サロン代表者と「コロナ禍」で工夫したり、また苦勞している事例を紹介頂き発表内容をテーマにグループミーティングを開催した。当日はサロン代表者10名と地区社協役員、野七里地域ケアプラザの包括支援チームと区社協から参加を頂き、各サロンから「コロナ禍」でなかなかサロンに出席できない高齢者にクイズや脳トレ等をお渡しし参加できなくても交流を図るなど工夫している内容の発表があり、大変有意義な交流会が行われた。参加者は25名でした。

会長 塚本 忠志

## 栄区広域避難場所一覧



問い合わせ先 栄区社会福祉協議会 894-8521

# 横浜栄・防災 ボランティアネットワーク

今回は、身近な災害等を考慮して、「横浜栄・防災ボランティアネットワーク」のお話をお伺いしました。設立の経緯は昭和61年戸塚区から分区し昭和62年「栄区ボランティア連絡会」がスタート。その後阪神大震災や平成16年の台風による笠間、長尾台の大水害発生を契機に「自分たちの町は自分たちで守る仕組み」と「一番大変な時の援けあい」がぜひ必要ということで「横浜栄・防災ボランティアネットワーク」を平成18年に設立しました。



(左)大森副代表 (右)宇田川代表

平常時の主な活動内容は、社協の災害ボランティアセンター開設の時、運営に協力するための訓練・地域からの要望に応じて防災講座を開設・防災研修会や勉強会、そして地域で開催するイベント等にも参加協力をしています。

当初29団体と45名で発足しましたが、現在は20団体と22名の個人で活動しています。これからの課題は、担い手を増やすことです。「この会の活動の趣旨と目的を理解し賛同して協力、支援そして担い手を随時募集しています。ホームページを見ていただき仲間になって頂きたいと思います」。また災害時対応策の知識の向上(例として、地震時の家具の転倒防止対策として家具の固定等)を皆様に望んでいらっしゃいました。(田中・吉野)



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

## 苦しんでいる人を救いたい 日本赤十字社

日本赤十字社は、  
地域の皆様のいのちと健康・尊厳を守ることを使命としています。

赤十字活動資金のご協力を、5月からお願いしておりました。温かいご支援ありがとうございました。

ひとりひとりのご支援が「安心」へと繋がっています。今後とも赤十字へのご理解、ご協力を宜しくお願い致します。

### 日本赤十字社は、地域に相ざした活動をおこなっております

日本赤十字社は、災害救護や国際救援などの活動を、「赤十字活動資金」と呼ばれる皆様からの募金・寄付によって行っています。

また、地域福祉やボランティア活動、災害発生時には自治体や地域住民の方々と協力して救護活動を行うなど、地域と密接な関わりをもっています。



本紙は、区民の皆様から寄せられた共同募金の一部を用いて発行し、自治会・町内会のご協力で全世帯にお配りしています。

近年、地震速報や災害情報を耳にする機会が多くなりその度に不安な気持ちになります。災害に対して無力な私たちですが備える力は持っています。日ごろから近隣のお付き合いを大切に、小さなつながりを持つことで日常や災害時の安否確認に備えることが出来ます。

そして「災害ボランティアネットワーク」のような組織と防災拠点や町内会・自治会の自主防災体制との連携が計れば、安心につながるのではと思われました。(渡邊)

【栄区社会福祉協議会広報編集委員】  
 豊田(吉野 恵子) 笠間(田中 貞代)  
 小菅ヶ谷(野村 伸子) 本郷中央(長沼 勲)  
 本郷第三(寺本久美子) 上郷西(渡邊 晶)  
 上郷東(湖上 忍) あさの会(浅坂 隆雄)  
 どんぐり(渡邊 晶) 栄(石田 義則)

### 【編集後記】

